

新技術

新技術概要説明情報

2026.4.21 現在

NETIS登録番号	KT-220034-A
技術名称	コンクリート構造物補修材料EXGリペアシリーズ
事後評価	事後評価未実施技術
テーマ設定型比較表への掲載	無
受賞等	
技術審査証明技術	<input type="checkbox"/> 建設技術審査証明※
事前審査・事後評価	<input type="checkbox"/> 事前審査 <input type="checkbox"/> 活用効果評価
技術の位置付け (有用な新技術)	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 評価促進技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術
旧実施要領における 技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 活用促進技術(旧) <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術
活用効果調査入力様式	<input type="checkbox"/> -A 活用効果調査が必要です。
適用期間等	

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。 申請情報の最終更新年月日：2024/05/31

概要

副題	水性エポキシ、水性アクリル等でコンクリート構造物や鉄骨構造物の長寿命化を図る材料
分類 1	コンクリート工 - その他
分類 2	砂防工 - コンクリート工 - その他
分類 3	道路維持修繕工 - 橋梁補修補強工 - その他
分類 4	ダム - コンクリートダム提体工
分類 5	河川海岸 - その他
区分	材料

①何について何をする技術なのか？

- ・補修部分が湿潤状態でも施工が可能な水性エポキシ、水性アクリル製の補修材

②従来は、どのような技術で対応していたのか？

- ・表面被覆工（コンクリート保護塗装CC-B）で対応

③公共工事のどこに適用できるのか？

- ・コンクリート構造物の補修、補強工事

④その他

- ・(株)グローケミカル社での商品名は以下となります。
- ・EXGリペア100⇒GC-100
- ・EXGリペア110⇒GC-110
- ・EXGリペア13⇒GC-13
- ・EXGリペア500⇒GC-500
- ・EXGリペア止水材⇒GC-止水材
- ・EXGリペアファインセラ水性⇒GC-ファインセラ水性
- ・既存コンクリートや鉄部の補修・補強を行う事で構造物の長寿命化に寄与する。
- ・本技術は、水性エポキシ、水性アクリルを使用している為、環境への影響が抑制されるとともに、刷毛、ローラー、吹付ができることから構造物の形状や塗布面積の大きさに係わらず施工が可能である。
- ・補修箇所が湿潤面だけでなく、塩化カルシウム被害や海水による塩害被害面でも塩分除去のための洗浄は必要なく、ゴミやコケ等を除去するだけで補修・補強が可能である。



EXGリペアシリーズ

EXGリペアシリーズ諸元表

■品名	EXGリペア100	EXGリペア110	EXGリペア500	EXGリペア13	EXGリペア止水材	EXGリペアファインセラ水性
■用途	基本プライマー（下地調整、中塗り）	基本プライマー（下地調整、中塗り）防錆・耐薬・耐塩保護剤	下地調整（補修材）	下地調整（補修材）セメント、珪砂、水と混合して使用	下地調整（止水材）	表面保護塗料
■適用範囲	コンクリート面、鉄部鋼材・ガルバリウム鋼板、金属、木材に適用	土木、建築構造物を含めて全ての保護塗装に適用	コンクリートクラック、コンクリートとアスファルトの密着、鋼材、アルミ、ステンレス、プラスチックの接続、金属とコンクリートや木材との接着に利用する	新設コンクリート仕上げ、タイル貼り、剥落コンクリート補修、コンクリート栈橋、コンクリート床補修、亀裂補修、鉄部モルタル巻き等	コンクリート構造物漏水部	土木、建築構造物を含め全ての保護塗装に適用
■特徴1	環境に優しい水性エポキシでコンクリート面では、浸透弾性強化防水が一度に出来る中性化防止補修プライマー	環境に優しい水性エポキシで、防錆、耐薬、耐塩、耐久性に優れている	弱溶エポキシパテで弾性、柔軟性に優れている	水性アクリル樹脂で、密着、曲げ、弾性（靱性）に優れている	適用部にEXGリペア100を注入してこの止水材で60秒抑えることで止水する	水性無機塗料で、耐候性、難燃性、低汚染性、耐屈曲性、耐クラック性、常温硬化性に優れている
■特徴2	湿潤面、塩害面でも施工が可能	防水、躯体強化が出来る	動きの大きいクラック補修に適する	各種樹脂モルタルの中では、防水性、凍結融解防止にすぐれている	止水材の剥離が無く長期に持続する	塗膜表面の状態について、耐水性、耐候性が長期間持続する。(メ

							タルハイランド促進耐候試験にて 25年相当の試験をした結果良好)
■特徴 3	常温での施工 高 温度にも対応 (170°C~180°C)	常温での施工 高 温度にも対応 (170°C~180°C)	常温での施工	常温での施工	コンクリートと同等の耐熱性を持つ	常温での施工	常温での施工 1000°Cのバーナー延焼試験でも延焼は無し

新規性及び期待される効果

①どこに新規性があるのか？（従来技術と比較して何を改善したのか？）

・既存コンクリート構造物の補修・補強の為に塗布剤を、従来の有機溶剤を用いた表面被覆工（コンクリート保護塗装CC-B）から、水性エポキシ、水性アクリル等を適正配合した水性剤にかえた。

②期待される効果は？（新技術活用のメリットは？）

・水性エポキシ、水性アクリル等を適正配合した水性剤に変えたことにより、湿潤面での乾燥、塩害面での塩分除去洗浄が不要となるため工程が短縮する。

・水性エポキシ、水性アクリル等を適正配合した水溶性剤に変えたことにより、塩害面での施工がゴミ又コケ等の除去だけなので省力化し、施工性が向上する。

・水性エポキシ、水性アクリル等を適正配合した水性剤に変えたことにより、施工費用が安価となり経済性が向上する。

・水性エポキシ、水性アクリル等を適正配合した水性剤に変えたことにより、非可燃性のため引火の恐れがなくなり安全性が向上する。

・水性エポキシ、水性アクリル等を適正配合した水性剤に変えたことにより、有機溶剤による中毒災害の発生の恐れがないため安全性が向上する。

・水性エポキシ、水性アクリル等を適正配合した水性剤に変えたことにより、有機溶剤の臭いが施工場所周辺に漂わないため周辺環境への影響が向上する。

③その他

・適正配合した水溶性剤は、水分との馴染みが良好であるため浸透密着する。塩害面での塩分は水分と馴染みやすい為、浸透密着し、効果を発揮する。



EXGリペアシリーズでの施工

EXGリペアシリーズでの施工

■施工カ所	黒部ダム法面補修写真	NTTワールドエンジニアリング長崎 海底ケーブル引き込み棟建屋補修	鉄塔コンクリート基礎補修	淀高架橋コンクリート壁面補修
■施工目的	コンクリート法面の凍結融解剥落防止	海底ケーブル引き込み棟建屋 錆び止め補修	鉄塔基礎爆裂、亀裂補修	高架橋基礎が塩カル被害での爆裂、亀裂、鉄部錆補修
■施工内容	EXGリペア100とEXGリペア13を使用し施工	EXGリペア100, EXGリペア110, EXGリペアセラマイルドを使用し施工	EXGリペア100, EXGリペア110, EXGリペア13を使用し施工	EXGリペア100, EXGリペア110, EXGリペア13樹脂モルタルを使用し施工

適用条件

①自然条件

・気温は0°Cから40°Cの間で施工する必要がある。

②現場条件

- ・施工時の現場スペースは、材料置き場、施工準備スペースで2m×2m=4㎡程必要。

③技術提供可能地域

- ・技術提供地域については制限なし。

④関連法令等

- ・特になし

適用範囲

①適用可能な範囲

- ・大気露出部（水中部以外）の構造物

②特に効果の高い適用範囲

- ・コンクリート躯体の亀裂、錆部
- ・鉄筋及び鉄骨構造物の腐食部分

③適用できない範囲

- ・大気露出部以外（水中部）の構造物

留意事項

①設計時

- ・本技術を導入する際は、ご利用条件を確認する必要がある為、問合せ先（営業）に連絡してください。

②施工時

- ・1時間で塗り切れる分量を混合し繰り返し施工する。
- ・漏水している場合はEXGリペア止水材で流水を止めてから行う。
- ・錆面の施工は、浮き錆が発生していた場合は、3種ケレンをしてから行う。

③維持管理時

- ・水性エポキシ、水性アクリル共、直射日光を避け35℃以上0℃以下にならない場所に保管する。

④その他

- ・特になし

従来技術との比較

活用の効果

比較する従来技術		・表面被覆工（コンクリート保護塗装CC-B）で対応	
項目	活用の効果	比較の根拠	
経済性	<input checked="" type="radio"/> 向上 (32.57%) <input type="radio"/> 同程度 <input type="radio"/> 低下	施工費用が安価となるため	
工程	<input checked="" type="radio"/> 短縮 (20%) <input type="radio"/> 同程度 <input type="radio"/> 増加	湿潤面での乾燥、塩害面では、塩分除去洗浄が不要となるため	
品質	<input type="radio"/> 向上 <input checked="" type="radio"/> 同程度 <input type="radio"/> 低下		
安全性	<input checked="" type="radio"/> 向上 <input type="radio"/> 同程度 <input type="radio"/> 低下	水性剤が非可燃性であり引火の恐れがない、又有機溶剤による中毒災害の発生する恐れがないため	
施工性	<input checked="" type="radio"/> 向上 <input type="radio"/> 同程度 <input type="radio"/> 低下	塩害面での施工がゴミ又コケ等の除去だけなので省力化するため	
環境	<input checked="" type="radio"/> 向上 <input type="radio"/> 同程度 <input type="radio"/> 低下	水性材料のため、有機溶剤のように臭いが施工場所周辺に漂わない	
	<input type="radio"/> 向上 <input type="radio"/> 同程度 <input type="radio"/> 低下		
	<input type="radio"/> 向上 <input type="radio"/> 同程度 <input type="radio"/> 低下		
その他、技術の アピールポイント等	従来は有機溶剤を使用していたため、湿潤面では乾燥、塩害面では洗浄してから施工するといった課題があったが、本技術は水溶剤を使用することで湿潤面又塩害面のコケ・ゴミ等を除去するだけで施工が可能のため省力化となり施工性の向上及び工程短縮が図れる。		
コスト タイプ	発散型：C(+)型		

活用の効果の根拠

基準とする数量	100.00	単位	m ²
	新技術	従来技術	向上の程度
経済性	414,900円	615,330円	32.57 %
工程	4日	5日	20 %

新技術の内訳

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
下地処理		100	m ²	250 円	25,000 円	ゴミ・コケ等の（洗浄）除去
プライマー塗布	EXGリハ° 7100 120g/m ²	100	m ²	1,004.75 円	100,475 円	材工
下地調整	EXGリハ° 7100 120g/m ²	100	m ²	1,004.75 円	100,475 円	材工

中塗り	EXGリハ° アファインセラ水性 160g/m ²	100	m ²	944.75 円	94,475 円	材工
上塗り	EXGリハ° アファインセラ水性 160g/m ²	100	m ²	944.75 円	94,475 円	材工

従来技術の内訳

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
下地処理		100	m ²	931.1 円	93,110 円	土木施工単価 '2020・夏 550~559ページ
プライマー塗布	100g/m ²	100	m ²	631.2 円	63,120 円	土木施工単価 '2020・夏 550~559ページ
下地調整	エポキシ樹脂 300g/m ²	100	m ²	1,552 円	155,200 円	土木施工単価 '2020・夏 550~559ページ
中塗り	エポキシ樹脂塗料 260g/m ²	100	m ²	1,471 円	147,100 円	土木施工単価 '2020・夏 550~559ページ
上塗り	フッ素樹脂塗料 120g/m ²	100	m ²	1,568 円	156,800 円	土木施工単価 '2020・夏 550~559ページ

特許・審査証明

特許・実用新案

特許情報			
実用新案	特許番号		
	実用新案	<input type="button" value="有り"/>	<input type="button" value="出願中"/> <input type="button" value="出願予定"/> <input type="button" value="無し"/>
	実施権		
	備考		

第三者評価・表彰等

	建設技術審査証明	建設技術評価
証明機関		
番号		
証明年月日		
URL		
	その他の制度等による証明1	その他の制度等による証明2
制度の名称		
番号		
証明年月日		
証明機関		
証明範囲		
URL		

評価・証明項目と結果

証明項目	試験・調査内容	結果
------	---------	----

単価・施工方法

施工単価

○施工条件

【共通】

- ・ 施工場所：東京都
- ・ 施工対象物：コンクリート構造物
- ・ 施工量：100㎡/現場
- ・ 施工方法：はけ・ローラー

【新技術】

- ・ 水性エポキシ塗料をプライマーで使用し、無機塗料。
- ・ 下地処理は高圧洗浄にて行う。(塩害面では、塩分除去の為の高圧洗浄は必要なし)

【従来技術】

- ・ 「鋼道路橋防食便覧」にて規定されているCC-B塗装。

○積算条件

【共通】

- ・ 無し

【新技術】

- ・ 労務費：令和2年度公共工事設計労務単価（東京都）（令和2年2月）
- ・ 材料費：自社単価（2020年7月）
- ・ 施工歩掛：自社歩掛（2020年度）

【従来技術】

- ・ 施工費：2020年夏 土木施工単価による
- ・ 施工歩掛：2020年夏 土木施工単価による

施工単価（見積ベース）

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	概要
下地処理	高圧洗浄	100	㎡	250	25,000	単価見積りによる
プライマー塗布	EXGリハ°ア100	12	kg	5,500	66,000	120g×100㎡=12kg 単価見積りによる
下地調整	EXGリハ°ア100	12	kg	5,500	66,000	120g×100㎡=12kg 単価見積りによる
中塗り	EXGリハ°アファインセラ水性	16	kg	3,750	60,000	160g×100㎡=16kg 単価見積りによる
上塗り	EXGリハ°アファインセラ水性	16	kg	3,750	60,000	160g×100㎡=16kg 単価見積りによる
塗装工		4	人	28,300	113,200	東京都労務単価 R2

土木一般世話役		1	人	24,700	24,700	東京都労務単価 R2
合計					414,900	

歩掛り表あり（自社歩掛）

施工方法

- (1) 準備工・材料搬入
- (2) 表面清掃（ゴミ、コケ等の高圧洗浄）ただし、塩害面での塩分除去のための高圧洗浄は必要なし
- (3) プライマー塗布
 - ①EXGリペア100 120g/m² 主剤：硬化剤 1：1
 - ②下地調整 EXGリペア100 120g/m² 必要に応じて珪砂モルタルを混合して断面修復を行う
- (4) 仕上げ塗り
 - ①中塗り EXGリペアファインセラ水性160 g/m²
 - ②上塗り EXGリペアファインセラ水性160g/m²
- (5) 現場清掃、残材撤去



壁面防水塗装施工工事

従来技術と新技術の施工方法比較

従来技術施工方法	新技術施工方法
①準備工・材料搬入	①準備工・材料搬入
②表面清掃（ゴミ・コケ等および塩分の高圧洗浄による除去）	②表面清掃（ゴミ・コケ等の（洗浄）除去）
③表面乾燥	③プライマー塗布
④プライマー塗布	④仕上げ塗り
⑤仕上げ塗り	⑤現場清掃・残材撤去
⑥現場清掃・残材撤去	

今後の課題とその対応計画

①今後の課題

・特になし

②対応計画

・特になし

問合せ先・その他

収集整備局	関東地方整備局																																										
開発年	2020 (R02)																																										
登録年度	2022 (R04)																																										
登録年月日	2022/05/23 (R04/05/23)																																										
最終評価年月日																																											
最終更新年月日	2024/05/31 (R06/05/31)																																										
キーワード	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; gap: 5px;"> 安心・安全 環境 情報化 コスト削減・生産性の向上 公共工事の品質確保・向上 景観 伝統・歴史・文化 リサイクル </div> <p>自由記入： 工程短縮 施工性</p>																																										
開発目標	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; gap: 5px;"> 省人化 省力化 経済性の向上 施工精度の向上 耐久性の向上 安全性の向上 作業環境の向上 周辺環境への影響抑制 地球環境への影響抑制 省資源・省エネルギー 品質の向上 リサイクル性向上 </div> <p>自由記入： 工程短縮</p>																																										
開発体制	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; gap: 5px;"> 単独（産） 単独（官） 単独（学） 共同研究（産・官・学） 共同研究（産・産） 共同研究（産・官） 共同研究（産・学） </div>																																										
開発会社	株式会社グローケミカル、エクシオグループ株式会社																																										
問合せ先	<p>技術</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">会社</td> <td colspan="3">株式会社グローケミカル</td> </tr> <tr> <td>担当部署</td> <td></td> <td>担当者</td> <td>糀谷秀樹</td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td colspan="3">916-0073 福井県鯖江市下野田町2-8-4</td> </tr> <tr> <td>TEL</td> <td>0778-62-3158</td> <td>FAX</td> <td>0778-62-3160</td> </tr> <tr> <td>E-MAIL</td> <td>hkoujitani@growchemical.com</td> <td>URL</td> <td>https://www.growchemical.net/</td> </tr> </table> <p>営業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">会社</td> <td colspan="3">エクシオグループ株式会社</td> </tr> <tr> <td>担当部署</td> <td>電気・環境・スマートエネルギー事業本部新領域ビジネス本部</td> <td>担当者</td> <td>湯澤正和</td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td colspan="3">150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号</td> </tr> <tr> <td>TEL</td> <td>03-5778-1140</td> <td>FAX</td> <td>03-5778-1216</td> </tr> <tr> <td>E-MAIL</td> <td>contact_exgrepair@enp.exeo.co.jp</td> <td>URL</td> <td>https://www.exeo.co.jp/jigyou/do/EXG_repair.html</td> </tr> </table> <p>その他</p>			会社	株式会社グローケミカル			担当部署		担当者	糀谷秀樹	住所	916-0073 福井県鯖江市下野田町2-8-4			TEL	0778-62-3158	FAX	0778-62-3160	E-MAIL	hkoujitani@growchemical.com	URL	https://www.growchemical.net/	会社	エクシオグループ株式会社			担当部署	電気・環境・スマートエネルギー事業本部新領域ビジネス本部	担当者	湯澤正和	住所	150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号			TEL	03-5778-1140	FAX	03-5778-1216	E-MAIL	contact_exgrepair@enp.exeo.co.jp	URL	https://www.exeo.co.jp/jigyou/do/EXG_repair.html
会社	株式会社グローケミカル																																										
担当部署		担当者	糀谷秀樹																																								
住所	916-0073 福井県鯖江市下野田町2-8-4																																										
TEL	0778-62-3158	FAX	0778-62-3160																																								
E-MAIL	hkoujitani@growchemical.com	URL	https://www.growchemical.net/																																								
会社	エクシオグループ株式会社																																										
担当部署	電気・環境・スマートエネルギー事業本部新領域ビジネス本部	担当者	湯澤正和																																								
住所	150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号																																										
TEL	03-5778-1140	FAX	03-5778-1216																																								
E-MAIL	contact_exgrepair@enp.exeo.co.jp	URL	https://www.exeo.co.jp/jigyou/do/EXG_repair.html																																								

実験等実施状況

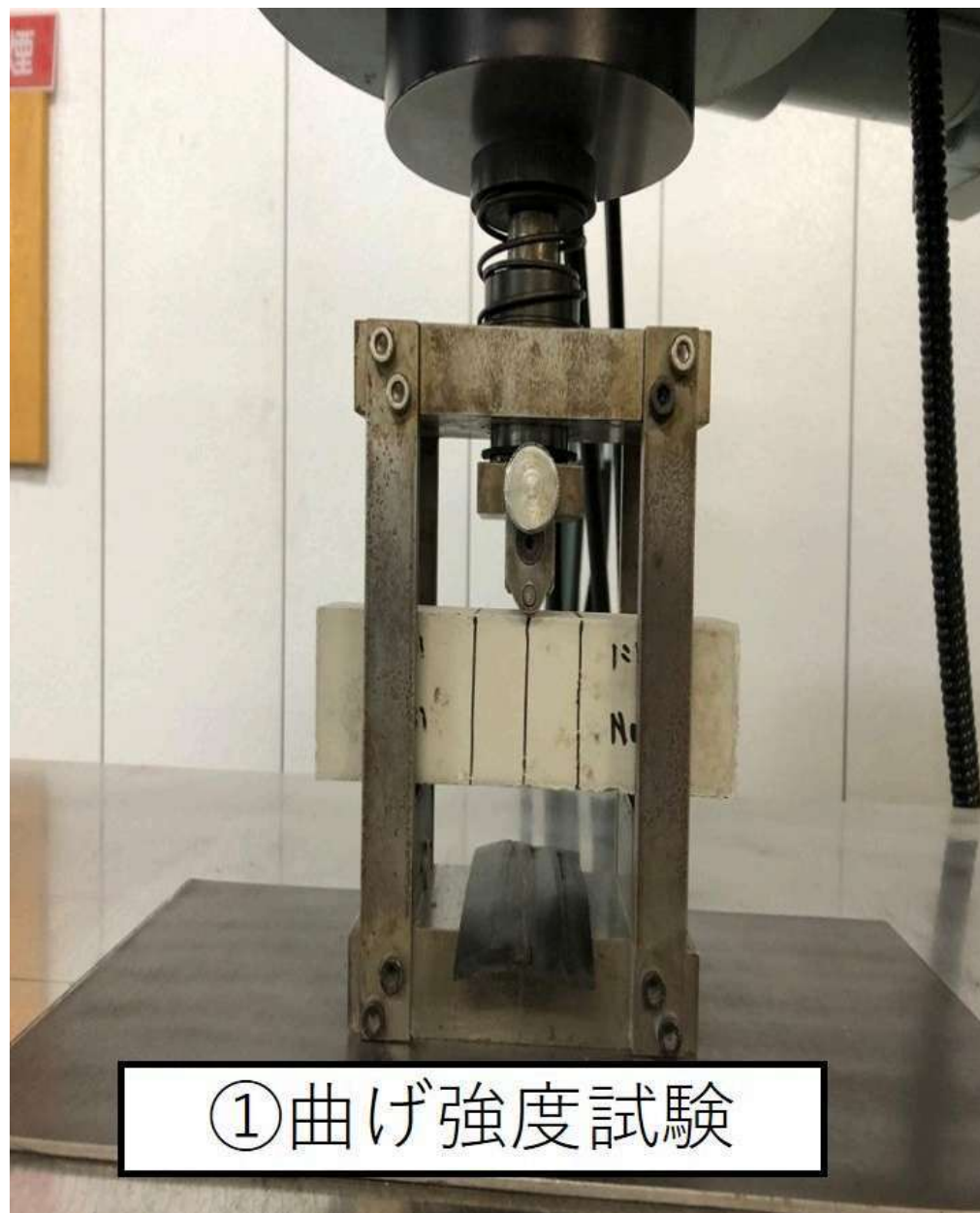
■EXGリペア13の物性確認試験

1. 試験実施日：2020年1月23日～3月19日
2. 試験場所：(株)八木熊、(株)M・T技研、中央材料研究所 福井県鯖江市二丁掛7-6

3. 試験目的：EXGリペア13の物性確認
4. 試験方法：下記①～⑦の試験についてJISに基づいて確認する
 - ①曲げ強度試験、②圧縮強度試験、③付着強度試験、④長さ変化率試験、⑤透水量試験、⑥凍結融解試験、⑦塩分浸透試験、
5. 試験結果：①～⑦の試験結果は、基準値を十分満足する結果だった。
6. 考察：①曲げ強度試験、③付着強度試験、④長さ変化率試験の結果から、母材との付着性、追従性に優れ、尚且つ⑤透水量試験、⑥凍結融解試験、⑦塩分浸透試験結果からも緻密な材料である。

■EXGリペア100、EXGリペア110、EXGリペア13、EXGリペア500の密着試験

1. 試験実施日：2012年5月～2014年8月30日
2. 試験場所：(株)グローケミカル 福井県鯖江市下野田町28-4
3. 試験目的：EXGリペア100、EXGリペア110、EXGリペア13、EXGリペア500の密着確認
4. 試験方法：下記①～④の試験についてJISに基づいて確認する。
 - ①EXGリペア100 剥離強度試験、②EXGリペア110 鋼材錆面・亜鉛メッキ鋼板密着試験、③EXGリペア13 剥離強度試験、④EXGリペア500剥離強度試験、引張剪断強度試験
5. 試験結果：①～④の試験結果は基準値以上の密着力を満足する結果だった。
6. 考察：
 - ①EXGリペア100 剥離強度試験：湿潤面でも塩害面でも乾燥コンクリートと比較し大きな誤差もなく浸透密着しあらゆる状況下でも使用可能な材料である。
 - ②EXGリペア110 鋼材錆面・亜鉛メッキ鋼板密着試験：鋼材の錆の上から塗装しても十分な密着力があり、鉄筋コンクリート構造物の錆爆裂補修にも最適である。又水性剤では密着が悪い亜鉛メッキ鋼板でも十分な密着力が得られた。
 - ③EXGリペア13 剥離強度試験：コンクリートへの浸透密着は十分であるが、防水性、中性化防止ではEXGリペア100より劣る。
 - ④EXGリペア500剥離強度試験、引張剪断強度試験：コンクリートへの密着、アルミ片での剪断強度試験で基準値を超える能力が得られた。



曲げ強度試験

モルタルの物性確認試験

試験項目	モルタル配合	EXGリペア13樹脂モルタル試験結果【材齢28日】	参考基準	■EXGリペア100 試験成績結果	剥離強度(N/mm ²) JIS A 6909(参考基準1.0以上)	■EXGリペア110 試験成績結果	剥離強度(N/mm ²) JIS K 5600-5-7(参考基準0.5以上)	■EXGリペア13 試験成績結果	剥離強度(N/mm ²) JIS A 6909(参考基準1.0以上)
------	--------	---------------------------	------	----------------------	---	----------------------	---	---------------------	---

①曲げ強度試験	1:1	9.48N/mm2	6N/mm2以上		1.乾燥コンクリート	2.95		1.鋼材 錆面	1.87		1.湿潤コンクリート	2.69
②圧縮強度試験	1:1	33.3N/mm2	20N/mm2以上		2.湿潤コンクリート	2.81		2.亜鉛メッキ鋼板	1.59		2.塩害コンクリート	2.80
③付着強度試験	1:1	3.80N/mm2	1N/mm2以上		3.塩害コンクリート	2.53					3.塩カルコンクリート	2.59
④長さ変化率試験	1:1	0.045%	0.05%以下		4.塩カルコンクリート	2.43						
⑤透水量試験	1:1	1.5g	3g以下			JIS K 5600-5-7(参考基準0.5以上)						
⑥凍結融解試験	1:1	102%	85%以上		5.鋼材	5.62						
⑦塩分浸透試験	1:1	6mm			6.鋼材錆面	3.03						
					7.ガリバリウム	4.56						
					8. S u S	5.31						
					9.EXGリペア100樹脂モルタル	5.31						
					10.亜鉛メッキ鋼板	1.64						

添付資料

【その他資料①】

【その他資料②】

【その他資料③】

参考文献

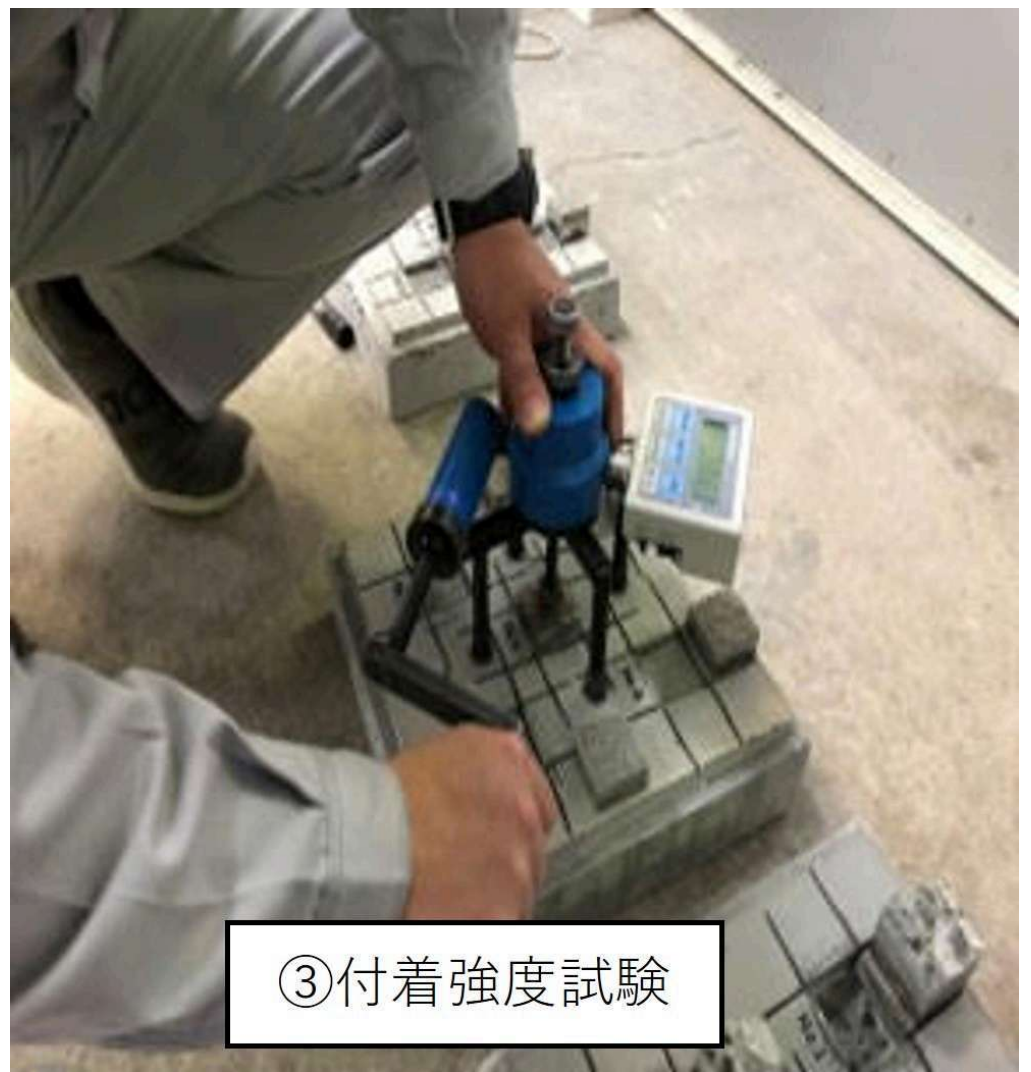
特になし

その他写真



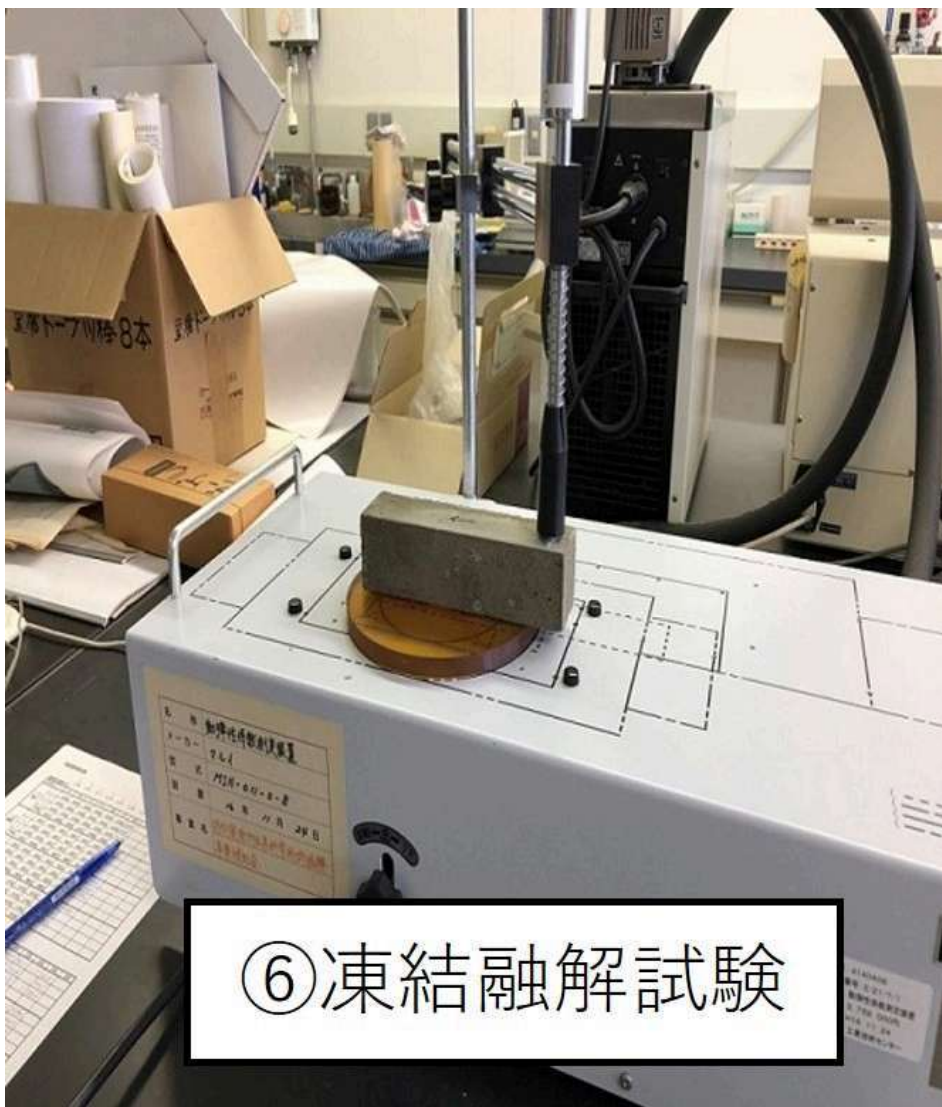
②圧縮強度試験

圧縮強度試験



③付着強度試験

付着強度試験



凍結融解試験

施工実績

国土交通省	0件
その他の公共機関	1件
民間等	17件

詳細説明資料

評価項目			申請者記入欄			
大	中	小	① 現行基準値等	③ 申請技術について実証により確認した数値等	④ 従来技術との比較<結果>	備考
品質	耐久性（物性）	曲げ強度	材料の曲げ強度が、材齢28日で基準値（6 N/mm ² ）以上であること	材料の曲げ強度が、材齢28日で基準値以上（9.48N/mm ² ）であることを確認した	従来技術も材料の曲げ強度については変わらないため、同等	-
		長さ変化率	材料の長さ変化率が、材齢28日で基準値（0.05%）以下であること	材料の長さ変化率が、材齢28日で基準値以下（0.045%）であることを確認した	従来技術も材料の長さ変化率は変わらないため、同等	-
	耐久性（形状）	圧縮強度	材料の圧縮強度が、基準値（20N/mm ² ）以上であること	材料の圧縮強度が、基準値以上（33.3 N/mm ² ）であることを確認した	従来技術も材料の圧縮強度は変わらないため、同等	-
	耐久性（能力）	付着強度	材料の付着強度が、材齢28日で基準値（1N/mm ² ）以上であること	材料の付着強度が、材齢28日で基準値以上（3.8N/mm ² ）であることを確認した	従来技術も付着強度試験は変わらないため、同等	-
		透水量	材料の透水量が、材齢28日で基準値（3g）以下であること	材料の透水量が、材齢28日で基準値以下（1.5g）であることを確認した	従来技術も透水量は変わらないため、同等	-
		凍結融解	材料の凍結融解が、材齢28日で基準値（85%）以上であること	材料の凍結融解が、材齢28日で基準値以上（102%）であることを確認した	従来技術は有機溶剤系であるため、評価対象外	-
		塩分浸透	材料の塩分浸透は6mm以下であること	材料の塩分浸透は6mmであったことを確認した	従来技術は有機溶剤系であるため、評価対象外	-
	材料	-	-	-	-	-
	施工	施工量	1時間で塗り切れる分量を混合し繰り返し施工すること	1時間で塗り切れる分量を混合し繰り返し施工することを確認した	従来技術も必要な分量を混合し施工しているため、同等	-
	完成物	剥離強度	材料の剥離強度が、基準値(1.0N/mm ²)以上であること	材料の剥離強度が、基準値以上(2.81 N/mm ² (湿潤コンクリート))であることを確認した	従来技術も材料の剥離強度は変わらないため、同等	-
安全性	構造	-	-	-	-	-
	施工段階	作業員に対する事故などの発生	有機溶剤による中毒災害の発生の恐れがないこと	有機溶剤による中毒災害の発生の恐れがないことを確認した	従来技術は、有機溶剤系であり中毒災害の発生の可能性があるため、向上	-
		発火性	水性剤が非可燃性であり引火の恐れがないこと	水性剤が非可燃性であり引火の恐れがないことを確認した	従来技術は、有機溶剤系の材料が可燃性であり引火の可能性があるため、向上	-
施工性	現場条件	作業スペース	施工時の現場スペースは、材料置き場、施工準備スペースで2m×2m=4㎡程必要なこと	施工時の現場スペースは、材料置き場、施工準備スペースで2m×2m=4㎡程必要であることを確認した	従来技術も作業スペースは変わらないため、同等	-
	適用範囲	適用範囲	大気露出部(水中部以外)の構造物であること	大気露出部(水中部以外)の構造物であることを確認した	従来技術も適用範囲は変わらないため、同等	-
	自然条件	気温	施工は気温0℃から40℃の間で行うこと	施工は気温0℃から40℃の間で行うことを確認した	従来技術も施工の気温は変わらないため、同等	-
	施工管理	施工管理	塩書面での施工がゴミ又コケ等の除去を行うだけで塩害除去のための洗浄が不要となり省力化になること	塩書面での施工がゴミ又コケ等の除去を行うだけで塩害除去のための洗浄が不要となり省力化になることを確認した	従来技術は、塩書面での施工際にはゴミ又コケ等の除去、塩害除去のための洗浄が必要なため、向上	-
	難易度	-	-	-	-	-

評価項目			申請者記入欄			
大	中	小	①現行基準値等	③申請技術について実証により確認した数値等	④従来技術との比較<結果>	備考
	合理化	工程	-	4日/100㎡	5日/100㎡(20%短縮)	-
環境	社会環境	悪臭公害	水性材料のため、有機溶剤のように臭いが施工場所周辺に漂わないこと	水性材料のため、有機溶剤のように臭いが施工場所周辺に漂わないことを確認した	従来技術は、有機溶剤であり臭いが施工場所周辺に漂うため、向上	-
	作業員環境	-	-	-	-	-